



【校訓】 自立・貢献・感動 【教育目標】 知る 考える 行動する

若鳩文化発表会

Best memory Best melody ～特別な時間を作りあげよう～

(抜粋して掲載)

開会の言葉 7年生

今までのクラスで行う大きな行事は、この合唱コンクールが最後です。今日まで自分たちが選んだクラス曲を何度も何度も試行錯誤しながら完成度を高め続けてきたと思います。今までの練習の成果を見ている人に届けられるように全力を尽くしましょう。また、代表者による学習発表もあります。自分たちの参考になる発表なので耳だけでなく、心でも聴きましょう。

実行委員長挨拶

9年生

優勝するために本気で準備してきました。お互い最高の結果を出せるように頑張りましょう。そして皆さんは今日のために、たくさんの努力をしてくださったのだと思います。時には失敗し、それを改善しようと様々な取組をし、今日まで歩んできたのだと思います。ただ、もう練習をする時間はありません。本番があるだけです。今年のスローガンである「Best memory Best melody ～特別な時間を作りあげよう～」にもあるように、自分が今までしてきたことを信じて、周りの人を感動させられる、そして自分がやってきて良かったと思えるような合唱、発表できるように頑張りましょう。

審査方法 9年生

「ハーモニー」「曲想」「声量」「滑舌」「演奏中のマナー」各項目5点満点です。

合唱コンクール成功のためには、聴いている側の姿勢も絶対に必要です。鑑賞態度にも気を配り、全員で協力して素晴らしい合唱コンクールにしましょう。練習を積み重ねてきた素晴らしい演奏を会場いっぱいに響かせましょう。

7年2組 永遠のキャンパス

指揮 伴奏

クラス紹介

2組は、明るく賑やかなクラスです。クラス全体が楽しい雰囲気になっています。私たちの曲は、真っ白な未来に自分たちの夢や希望を自由に描いていく決意が込められた曲です。歌詞は、これから先の自分たちの姿と重なり、クラスみんなが共感しながら歌っていました。パートごとに話し合いを重ね、互いに声を掛け合いながら、少しずつ改善してきました。特に聴いていただきたいところは、サビでの声の広がりや強弱を意識したところです。

1組 My Own Road 【学校長特別賞】

指揮

クラス紹介

お互いを思いやり、励まし合える温かいクラスです。練習でも良いところをたくさん褒め合いながら、明るく前向きに取り組んでできました。今から歌う曲は、聞く人の背中を押してくれるような希望にあふれる曲です。もうすぐ9年生はそれぞれの道へと進みます。自分で選んだ未来に自信をもって踏み出していけるよう願いを込めて、クラス全員で心をつなげて歌います。

7年3組 Let's Search For Tomorrow

指揮

伴奏

クラス紹介

3組の良いところは男女関係なく仲のよいところです。しかし仲が良いがために賑やか過ぎるときがあるので、合唱練習の時も最初はみんな喋ってしまいました。うまくまとめることができませんでした。一人一人がどうしたら合唱が良くなるか考えながらお互いの意見を尊重し合い練習してきました。強弱の表現、パートごとの曲調に注目して聴いてください。

7年4組 変わらないもの 【金賞】

指揮 伴奏

クラス紹介

合唱練習を始めた頃は最初の一音が合わないとそのあとの流れまで不安定になってしまい、強弱をつけることも難しく、気持ちを込めようとするほど、つい大きな声になってしまいうこともありました。それでも、お互いの声を聴くことを大切に、何度も連絡を重ねました。このメンバーでしかつけれない「特別な音」を見付けるために毎日全力で頑張りました。うるさいけど静か、バラバラだけど一つ、そんな矛盾を起こすのが私たちのクラスです。ぶつかり合う音と重なる音、この不協和音がきれいなハーモニーに変わる瞬間を聴き逃さないように聴いてください。

7年5組 HEIWAの鐘

指揮 伴奏

クラス紹介

合唱練習が始まった時は、男子も女子も歌い方が雑でした。しかし、練習を重ねていくうちにきれいな声が出せるようになり。クラス全員のやる気も徐々に高まりました。パートごとに集まり、一人一人自分の課題を見付け、意識しながら練習を繰り返してきました。強弱を使って戦争の悲惨さを表す工夫をしました。5組のユーモアあふれる歌声、楽しそうに歌っている姿を見せつけます。

7年6組 マイバラード

指揮 伴奏

クラス紹介

6組は正直とてもうるさいクラスです。毎日とても騒がしく、みんなの心を一つにするなんて難しいと感じていました。しかし、不思議なことにいざ合唱となると歌声が一つにまとまって一人一人が全員に合わせて歌うのです。このクラスの良いところだと思います。主に歌詞の間違いと声の大きさとバランスの調整に何度もつまずきました。今まで一生懸命練習してきたこの曲を、ハーモニーの広がりを意識して聴いていただけると嬉しいです。

8年6組 地球星歌

指揮 伴奏

クラス紹介

歌詞も音程もなかなか覚えることができず苦戦していました。パート別で歌ったり、アカペラで歌ったり、いろいろな練習方法で全員が自分の殻を破り、恥ずかしさをなくして大きな声で歌えるようになることを目標に練習を頑張ってきました。クラスの課題を解決するためにアンケートをとったり、パートリーダーを中心に意見を出し合ったりして練習を重ね、男子が殻を破って歌えるようになり、女子は歌のまとまりができてきました。一つ一つの歌詞に想いを込めて強弱や間を意識して歌います。

8年4組 空は今

指揮 伴奏

クラス紹介

クラスの最大の特徴は、どんな状況でも全力で楽しむことです。行事はもちろん日々の何気ない時間も笑いに変わってしまう明るさをもっています。練習を重ねていくうちに、このジがどこまでも広がっていくような旋律の美しさにクラス全員がどんどん引き込まれていきました。曲の終盤に向けて全員の想いが一つに重なり、空へ駆け上がっていくような盛り上がりは、クラスらしいエネルギーに満ち溢れています。爽やかな風が吹き抜けるような合唱をお届けします。

8年2組 春風の中で

指揮 伴奏

クラス紹介

春風どころか、最初は強風レベルで声がバラバラでした。クラスは発言が少なく、消極的に見えるかもしれませんが、実はどのクラスよりもテノールの声が大きかったり、指揮者に熱意があったり、イベントに熱いクラスです。音程が迷子になったり高音が上手く出なかったりもしました。しかし少しずつ声が重なり、春風のように柔らかくまとまるようになりました。

9年4組 虹 【金賞】

指揮 伴奏

クラス紹介

「虹」に乗り気な人はほとんどいませんでした。しかし「うるさくて、パワーのある4組なら絶対にこの曲は歌いこなせるし、難しいところは僕が教えられるから。」と学級委員であり、合唱コンクール実行委員のくんの熱弁によりこの曲に決め、みんなもどんどん好きになっていきました。ただ声が大きいテノールに、女子の声がかき消されていました。練習を重ねるうちに、テノールがソプラノやアルトの旋律を支える響きを意識し、女子もそれに寄り添うように真っすぐな歌声を目指して、お互いのハモリを聴き合いながら磨いてきました。怒られっぱなし、でも賑やかでいつも笑顔が絶えない4組でのかけがえのない時間を大切にしながら、それぞれが希望をもって進んでいこうという思いを載せて歌います。

8年5組 旅立ちのとき

指揮 伴奏

クラス紹介

明るく元気いっぱいなクラスです。パート練習では、音程が合わなかったり声が小さかったりして上手くいかないこともたくさんありました。実行委員が、どうすればもっと良くなるのかを一生懸命考え、何度も話し合いを重ねてきたおかげで、少しずつクラスの心が一つになっていきました。仲間とともに過ごしてきた日々への感謝とこれからそれぞれの未来へ進んでいく決意が込められています。これまで支え合いながら積み重ねてきた時間を信じて、今できる精一杯の歌声で、心をつ一つにして届けます。

9年5組 心の瞳

指揮 伴奏

クラス紹介

5組はいつも明るく賑やかで笑顔の絶えないクラスです。時々盛り上がり過ぎて先生に怒られてしまうこともあるほどです。そんな私たちにとって「心の瞳」を歌うのは、簡単なことではありませんでした。5組が強みとしていたのは力強い歌声でした。「心の瞳」の優しく温かな歌詞とメロディーと力強い歌声は mismatch でチグハグな印象になってしまいます。自分たちの強みを捨てることにしました。歌声だけでなく、友達や家族への思いや愛情の詰まった歌詞、メロディーにも注目しながらお聴きください。

8年3組 きみのもとへ・・・【金賞】

指揮 伴奏

クラス紹介

東日本大震災をきっかけに、困難に直面しても前向きに歩んでほしいという願いを込めた人と人との絆をテーマに作られた合唱曲です。歌詞には、一歩ずつ前へ進んでいく様子が描かれており、合唱の練習においても一体感と明るい未来を表現することが必要な曲です。最初は、歌声もバラバラでテノールがアルトやソプラノに引っ張られるなど課題が山積みでした。それでも諦めずに歌い続けみんなで乗り越えた壁です。今日のために完成させた3組の渾身な曲です。

9年3組 手紙

指揮

伴奏

クラス紹介

この曲は、今15歳の自分の気持ちを未来に届ける曲です。このクラスで出会えた仲間と過ごした時間は、大切な思い出です。受験や進路、目に見えない不安を抱え、私たちだからこそ伝えられる思いがあります。

実行委員や指揮者、伴奏者が前に立ち、みんなにアドバイスをしながら少しずつ形にしていきました。一人で出せない響きも、みんなで歌うと大きな力になります。練習を重ねてきた私たちだからこそ届けられる歌があると信じています。感謝の気持ちを込めて、心をつなげて歌います。

9年2組 道

指揮

伴奏

クラス紹介

2組は、休み時間にはとても活発でチャイム着席が少し苦手ですが、授業ではしっかり切り替えができ、協調性があります。ソプラノ、アルトの声がテノールに埋もれてしまい、バランスに悩まされることもありま

した。「道」の歌詞は、友達との大切な時間への感謝と別れを告げ、新しい人生に羽ばたいていく私たちに寄り添ってくれます。指揮者や先生とともに試行錯誤しながらアレンジした箇所もあります。その工夫にも注目してください。

7年生教育科学館魔改造プロジェクト 2025 3月13日13時から公開 遊びに来てください

教育科学館を誰もが楽しめるパラダイス館に変身させた歩みを紹介

6組

3組

5組

ある場所を理想の場所に変えられるとしたら。。。教育科学館を様々な道具を使い、パラダイス館に変身させる計画です。何を作るか一から考えています。見どころがたくさんあります。

4組

ザラメが入っている缶を高速で回しながらザラメを加熱し溶かすことで綿あめの糸が出てきます。それを割り箸で回収すると綿あめの完成です。身近にある材料と科学の力を利用して、一から作っています。「科学」に「お菓子作り」という要素を掛け合わせることで、「科学」に興味があると考えました。

「なぜ」という好奇心を「おいしい」という体験とともに育むことで、科学の本質的な楽しさをより深く自然に伝えることできるはずです。

2組



穴を掘り、ピオトープを作っています。土の中にパイプや柵が埋まっていたので抜くのが大変でした。メダカを入れて完成させます。

地震体験をしていた場所にジェットコースターを作っています。揺れの設定やライトの飾り付け、レール制作を行っています。動画も自分たちで一から作ることでよりリアルに再現し、新体験ができるような空間にしています。ジェットコースターに乗れない人でも楽しく体験できるブースにしたいです。最高に面白いアトラクションを作るので楽しみにしてください。

小さい子どもから大人まで安全で楽しめる空間を作っています。自由に発想できたり、広々とした空間で活動できたりする楽しさもあれば、話し合いがまとまらなかったり、想像していたものがなかなか完成しなかったりなど苦労がありました。インフルエンザが流行し教育科学館に行けなかったり、学校での作業さえもできなくなったりするときもありました。皆さんが安全で楽しく過ごせるような場所にしたいという思いで夏から活動しています。最後の最後までこだわっています。この計画が形になる瞬間をどうぞ楽しみにしてください。

<p>8年生職場体験 南前野児童館 2組</p> <p>児童館とは、0歳から18歳という幅広い年齢の子どもたちが自由にコミュニケーションしたり、遊んだりすることができる場所です。子どもたちのためにいろいろな工夫がされ、体験中も楽しめる素敵な場所です。大人と子どもの接し方の違いやイベント企画、イベントで使用するアイテムなどを書いたり貼ったりするなどいろいろな業務がありました。一人一人の個性を認識して接するという、子どもと触れ合う仕事の大変さを学びました。</p>	<p>8年生職場体験 第二たつこの保育園 4組</p> <p>社会福祉法人であることで、子育ての支援が充実している、子どもの健やかな成長が見られる、保護者同士の交流の場につながる、地域の安心安全につながる、という効果があります。保育園は、園児や保護者の第2の家、という安心できる存在でいられるように努力しているそうです。子ども一人一人の個性を認識し子どもに触れ合う、保育士の方々の温かさや丁寧な対応が心に残っています。明るく清潔で常に笑顔の絶え間ない努力と工夫があることを学びました。子どもたちと関わることの難しさも学びました。</p>
<p>8年生職場体験 富岡文具店 6組</p> <p>ノートの出張販売を行いました。想像以上に多くの子どもたちが買いに来てくれ、直接商品を届ける喜びを感じる、とても良い経験になりました。地域に根ざし、子どもたちの学びを支えている場所だと感じました。しかし、街の文具店は減少の一途を辿っています。私たち消費者がどこでお金を使うかが、街の景色を守ることにつながるのだと痛感しました。最も心に残ったのは、「人の気持ちを考えて行動する」ということです。接客はお金をもらってサービスを提供するため、普段の生活以上に、相手が何を求めているかを考える必要があります。これは日常生活でも大切にしていきたいです。文房具店は、単に物を売るだけでなく、地域の人々が集まる大切な場所であるということを感じました。自分の消費活動が地域を支えているということ一度考えてみてほしいです。</p>	<p>8年生平和の旅 広島 3組</p> <p>「ただいま」と言っても「おかえり」と返してくれる家族がいない静まり返った家の様子。孤独と恐怖を想像できますか。平和の旅に参加するにあたり、戦争について学習しましたが、やはり現地に住む方との知識の差は大きなものでした。この意識的な違いが戦争を生み出すことにつながるかもしれません。広島市長のお話の中の「ヒロシマの心」を世界に伝えていかななくてはならないと実感しました。平和が当たり前ではなく、平和な世界を私たちが作っていくのです。自分事として捉えて、関心をもってもらいたいと考えます。一人一人の意識が変わるだけでも、世の中全体に大きな影響を与えることができると信じています。</p> <p>“No more Hiroshima! No more Nagasaki!”</p>
<p>8年生平和の旅 長崎 5組</p> <p>地層の中には、破壊された家の瓦やレンガ熱によって焼けた土や溶けたガラスなどが大量に埋められており、原爆が無差別に一般市民の生活を破壊した様子を見ることができました。私たちが今歩いている道のすぐ下、苦しみながら亡くなった人たちが今も眠っているかもしれない。そう思うと足がすくむような怖さを感じました。科学が進歩して、これほど便利になった世界でさえ、人間はまた繰り返す可能性を抱えています。だからこそ平和の価値を知り、それを守る責任が私たちにあります。広島が「世界最初の被爆地」になったことは変えられません。しかし、長崎を「世界最後の被爆地」にできるかどうかは、これからの未来をつくる私たちにかかっています。</p> <p>「平和は人類共通の世界遺産である」「長崎を最後に」</p>	<p>海外派遣 マレーシア 3組</p> <p>スラムットゥンガハリこんには。マレーシアは多文化共生社会なので、買い物もマレー語、英語、中国語でやり取りをしていました。人々が互いに尊重し合っている姿が印象的でした、お世話になった家族は、家では中国語、外では、英語を使っていました。一緒に行った仲間たちとのコミュニケーションや他者を尊重する大切さ、共同作業を成功に導くための行動の仕方を学びました。現地では、言葉が上手く伝わらないことが多々ありましたが、ホームステイの家族がいつも助けてくれました。日本では経験できない文化の違いや食事、景色、生活を体験できました。この活動を通じて、困っている外国の人がいたら、積極的に声を掛けてお手伝いしたいと思いました。ありがとうございました。トゥリマ・カシ</p>
<p>開会の言葉 8年生</p> <p>結果が全てではありません。上手くいったこと、上手くいかなかったことや自分にまだできることはあったかなど、考えてみると今回の経験は生きると思えます。9年生の合唱は最高学年らしく、込められた想いが伝わってきてとても感動しました。</p>	

上手く歌えなかったり、意見が分かれたり、何度も話し合いを重ね課題解決をしながら壁を乗り越えてきた特別な時間。数分間のステージで、今のクラスでしか出せない色を体育館中に響かせ「このメンバーで歌えて良かった。」と心の底から思えたとき、ステージにいる人たちにとっても、聴いている人たちにとっても、「特別な時間」のメモリーとメロディーが一生心に残ります。そんな時間を過ごすことができました。「合唱とは」「最高のメロディーとは」を示してくれた9年生の心に響く歌声を心に刻んだ時間でした。

午後からの成果発表では、科学の力をどのように利用して地域の一角をコミュニティセンターにするか、平和であり続けるために私たちにできること何か、多様な文化を理解し、受け入れ、多様な人々が共に安心して過ごせる社会を作るために私たちにできることは何か、などを考える時間となりました。考えたことを実行できる人になってほしいです。

練習の始まりからの「特別な時間」を今後の生活に生かして、初めてこの取組が成功したといえます。卒業までの、上進級するまでの数日ですが、それぞれの学びを生活に生かすことを期待しています。